

PASSIOPASSIVE NEWS LETTER

2022

2

February

【OB様邸探訪】
薪ストーブと土間のある家
【見学会情報】
2月は見学会は要チェック！

check

パッシオパッシブ通信を
毎月お届け致します

01 \予約制/ 平屋Open House

2/6(日)

10:00~17:00

丸亀市

※開催場所詳細については
ご予約時にお伝えします。

すでにお住まい頂いている
お施主様の“住み心地”や
“光熱費”などの生の声が
聞けるチャンスです♪



今、気になる
全館空調
体験できます

メリットいっぱい
全館空調のすゝめ！

寒い時期だからこそ分かる家の性能！

ぜひ体験していただきたい快適なお家の見学会です。

WEB予約はコチラ //



TEL:0877-28-2855





やさしさに包まれる家

02

予約制 /
パッシブハウスジャパン主催の
パッシブハウスタウン
オープンデー
2月の土日祝

10:00~17:00
丸亀市垂水町

3棟同時にご覧いただけます。

街並みを考えた分譲地
“パッシブパッシブヴィレッジ”は
私たちと暮らす人々が一緒に *
つくりあげていくホームタウンです。
本当に豊かな暮らしを実現する
ためのごまかさない家づくりを
体感しませんか??



ふだん着リゾートの家



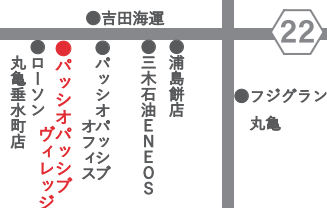
ほっこり北欧を
楽しむ家

WEB予約はコチラ //



TEL:0877-28-2855

MAP



03 予約制見学会

2/26(土)

27(日)

10:00~17:00

丸亀市

※開催場所詳細については
ご予約時にお伝えします。

南の大きな木製サッシを中心に、
LDKと小上がりの畳コーナー

階段下は家族の秘密の小屋屋

奥様憧れのパントリーで家事楽

“Cozy気分”な
大人かわいいお家

WEB予約はコチラ //



TEL:0877-28-2855



くらしのコラム ~家事の効率化~



新年明けてあつという間に2月です。年末年始の行事で奥様はけっこうバタバタ。そしてそれがようやくひと段落と言ったところでしょうか??

ひと段落と言っても、家事は毎日のこと。いかに効率良くこなすかがポイントですね。皆さんはどんな工夫をしていますか?少し前に読んだ雑誌に、毎朝の家事のルーティンを決めている奥様を取り上げられていました。掃除・洗濯・食事の準備など、朝起きてする事一通りが流れ作業のように決まっていて、考えずに済むからシンプルで速く物事が進むんだそう。なるほど!考える時間もそう言えば時間を使っている...ということになるんですね! (ふむふむ...)

こんな風に、家事の効率化には人それぞれの考え方があると思います。私の家事の効率化といえば、“食事の下ごしらえ”です。仕事柄、食事の時間が不規則になりがち。買い物にもマメに行けないので、冷凍庫を上手く使うようにしています。冷凍は肉や魚だけでなく、野菜も冷凍すると美味しく保存できるんです。

◆鍋物に便利な白菜、春菊、大根、人参などはカットしてそのまま冷凍。人参は小さくカットする方が解凍した時に筋が気にならなくなります。ネギ類もカットして冷凍。玉ねぎはスライスや微塵切りにして生のまま冷凍。*私のおすすめは玉ねぎの微塵切りをバターで炒めたものを冷凍すること。ハンバーグ作りやチャーハンなど、時短で作れますよ*

◆キノコ類は何でも冷凍OK。冷凍する方が旨みが増すとも言われています。石づきを切り落として小分けしたり、小さくカットして冷凍。

◆トマトは生のままで、または、素焼きにして冷凍。素焼きにしたトマトはイタリアでいうドライトマトになるので、パスタにおすすめです。

皆さんも、家事楽ポイントを見つけて実践してみてくださいね♪



インテリアコーディネーターmisa



香川・丸亀の工務店

PASSIO PASSIVE

株式会社パッシオパッシブ

〒763-0095
香川県丸亀市垂水町3145-1

TEL:0877-28-2855

FAX:0877-28-6278



パッシブハウスジャパン賛助会員
PASSIVEHOUSE JAPAN

▲パッシオパッシブ
通信の定期購読は
コチラから



メルマガ登録でパッシオパッシブの施工事例や
知って得するお家づくりについての情報を「シューイチ」で配信中♪

●登録方法はホームページの



をクリック!

HP: <https://passiop.com/>

パッシオパッシブ



passiopassive



@passiopassive



🌸 OB様邸探訪 🌸

薪ストーブと土間のある家



「室内にいながら外にいるような開放感のある家にしたい」。家づくりのコンセプトはこんなひと言から始まりました。その言葉通り、窓からの眺めや風通りなどが計算されており、自然とともに暮らす心地よさを感じます。リビングと庭の視覚的なつながりもポイントで、窓をなるべく多くとり、室内と屋外の視覚的な融合を図っています。ご夫婦がこだわったことの一つに薪ストーブのある土間空間があります。ここでは子供たちの散髪をしたり、観葉植物を剪定するなど室内と屋外の中間の使い方ができて便利なのだとか。「家のなかに火や木のある暮らしに憧れていた」と語るYさん。

玄関脇のアイアンの格子には剪定した庭木をドライフラワーにして飾っています。また、土間を境に和室としてDKを分けているので、和室は客間としても大活躍。さらにキッチンに玄関と直結させて動線を最小限にしており、買い物した食材をそのままキッチンに運ぶことも可能。このように土間は家にはなくてはならない存在になっているようです。

「住んでいて、朝一番に窓を開けて心地いい風が舞い込んでくる瞬間は、今でも新鮮な喜びがありますね」とひと言。一日のはじまりを心地よく、しあわせな気分にさせてくれる家って最高ですね。